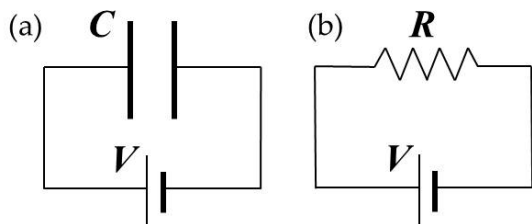


**問題1** 電圧  $V = 6[V]$  の電源に電気容量  $C = 5[\mu\text{F}]$  のコンデンサーと電気抵抗  $R = 2[\Omega]$  の抵抗を下図 (a), (b) のように接続する。



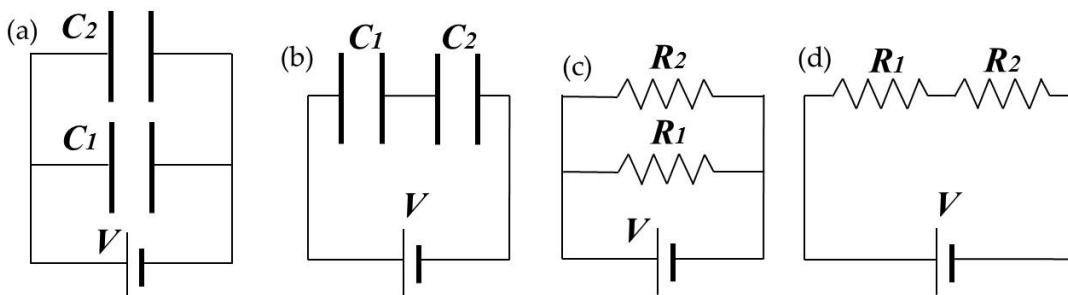
(1-1) 図 (a) の回路で、コンデンサーに溜まる電荷量  $Q$  を求めよ。

$$Q = CV = 5[\mu\text{F}] \times 6[\text{V}] = 3 \times 10^{-5}[\text{C}]$$

(1-2) 図 (b) の回路で、抵抗に流れる電流  $I$  を求めよ。

$$I = \frac{V}{R} = \frac{6[\text{V}]}{2[\Omega]} = 3[\text{A}]$$

**問題2** 電圧  $V$  の電源に電気容量  $C_1$  と  $C_2$  のコンデンサーおよび抵抗  $R_1$ ,  $R_2$  の抵抗を下図 (a), (b) のように接続する。



(2-1) 図 (a) の回路で、電気容量  $C_1$  と  $C_2$  のコンデンサーに溜まる電荷量  $Q_1$ ,  $Q_2$  を求め、合成電気容量  $C$  を  $C_1$  と  $C_2$  で表せ。

並列なので、

$$\begin{cases} V = V_1 = V_2 \\ Q = Q_1 + Q_2 \end{cases}$$

が成り立つ。ただし、 $V$ ,  $Q$  は回路全体の電圧、電荷、 $V_1$ ,  $Q_1$  はコンデンサー1の電圧、電荷、 $V_2$ ,  $Q_2$  はコンデンサー2の電圧、電荷を表す。以下の問題でも同様の記法を用いる。

コンデンサー 1, 2 それぞれの式を立てると,

$$\begin{cases} Q_1 = C_1 V_1 = \boxed{C_1 V} \\ Q_2 = C_2 V_2 = \boxed{C_2 V} \end{cases}$$

より, 全体の電荷は  $Q = Q_1 + Q_2 = (C_1 + C_2)V$  となる. 回路全体では  $Q = CV$  なので, 合成電気容量は

$$C = \frac{Q}{V} = \boxed{C_1 + C_2}$$

となる.

- (2-2) 図 (b) の回路で, 電気容量  $C_1$  と  $C_2$  のコンデンサーに溜まる電荷量  $Q_1, Q_2$  を求め, 合成電気容量  $C$  を  $C_1$  と  $C_2$  で表せ.

直列なので,

$$\begin{cases} V = V_1 + V_2 \\ Q = Q_1 = Q_2 \end{cases}$$

が成り立つ.

コンデンサー 1, 2 それぞれの式を立てると,

$$\begin{cases} Q = Q_1 = C_1 V_1 \\ Q = Q_2 = C_2 V_2 \end{cases}$$

より, それぞれの電圧は

$$\begin{cases} V_1 = \frac{Q}{C_1} \\ V_2 = \frac{Q}{C_2} \end{cases}$$

となる. 回路全体の電圧は  $V = V_1 + V_2 = \frac{Q}{C_1} + \frac{Q}{C_2} = Q \left( \frac{1}{C_1} + \frac{1}{C_2} \right)$  なので,

$$Q = \boxed{\frac{V}{\frac{1}{C_1} + \frac{1}{C_2}}} (= Q_1 = Q_2)$$

となる. 合成電気容量は

$$C = \frac{Q}{V} = \boxed{\frac{1}{\frac{1}{C_1} + \frac{1}{C_2}}}$$

となる. あるいは,

$$\boxed{\frac{1}{C} = \frac{1}{C_1} + \frac{1}{C_2}}$$

と書くと見やすい.

- (2-3) 図 (c) の回路で, 抵抗  $R_1$  と  $R_2$  の抵抗に流れる電流  $I_1, I_2$  を求め, 合成抵抗  $R$  を  $R_1$  と  $R_2$  で表せ.

並列なので、

$$\begin{cases} V = V_1 = V_2 \\ I = I_1 + I_2 \end{cases}$$

が成り立つ。

抵抗 1, 2 それぞれに流れる電流は

$$\begin{cases} I_1 = \frac{V_1}{R_1} = \frac{V}{R_1} \\ I_2 = \frac{V_2}{R_2} = \frac{V}{R_2} \end{cases}$$

となる。回路全体の電流は  $I = I_1 + I_2 = \frac{V}{R_1} + \frac{V}{R_2} = V \left( \frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2} \right)$  なので、合成抵抗は

$$R = \frac{V}{I} = \frac{1}{\frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}}$$

となる。あるいは、

$$\frac{1}{R} = \frac{1}{R_1} + \frac{1}{R_2}$$

と書くと見やすい。

- (2-4) 図 (d) の回路で、抵抗  $R_1$  と  $R_2$  の抵抗に流れる電流  $I_1, I_2$  を求め、合成抵抗  $R$  を  $R_1$  と  $R_2$  で表せ。

直列なので、

$$\begin{cases} I = I_1 = I_2 \\ V = V_1 + V_2 \end{cases}$$

が成り立つ。

抵抗 1, 2 それぞれの式を立てると、

$$\begin{cases} V_1 = I_1 R_1 = IR_1 \\ V_2 = I_2 R_2 = IR_2 \end{cases}$$

より、全体の電圧は  $V = V_1 + V_2 = I(R_1 + R_2)$  となる。したがって、それぞれの抵抗を流れる電流は

$$I_1 = I_2 = I = \frac{V}{R_1 + R_2}$$

となる。回路全体では  $V = IR$  なので、合成抵抗は

$$R = \frac{V}{I} = R_1 + R_2$$

となる。

**問題 3** 電圧  $V = 6[\text{V}]$  の電源に電気容量  $C_1 = 1.0[\mu\text{F}]$ ,  $C_2 = 2.0[\mu\text{F}]$ ,  $C_3 = 2.0[\mu\text{F}]$  のコンデンサーと、電気抵抗  $R_1 = 2.0[\Omega]$ ,  $R_2 = 3.0[\Omega]$ ,  $R_3 = 1.8[\Omega]$  の抵抗を下図 (a), (b) のように接続する。

(3-1) 図 (a) の回路の合成電気容量  $C$  を求めよ。

$C_\alpha$  と  $C_\beta$  を、並列につないだ合成容量は  $C_\alpha + C_\beta$  で、  
直列につないだ合成容量は  $\frac{1}{\frac{1}{C_\alpha} + \frac{1}{C_\beta}}$  である。

まず、 $C_1$  と  $C_2$  が並列につながっているので、その合成容量は  $C_1 + C_2 = 3[\mu\text{F}]$  である。

次に、これと  $C_3$  が直列につながっているので、その合成容量は

$$\begin{aligned}\frac{1}{\frac{1}{2.0} + \frac{1}{3.0}}[\mu\text{F}] &= \frac{6.0}{2.0 + 3.0}[\mu\text{F}] \\ &= \boxed{1.2[\mu\text{F}]}\end{aligned}$$

となる。

(3-2) 図 (a) の回路で、各コンデンサーに溜まる電荷量  $Q_1, Q_2, Q_3$  と電位差  $V_1, V_2, V_3$  を求めよ。

全体の合成容量は  $C = 1.2[\mu\text{F}]$  なので、全体に溜まる電荷は  $Q = CV = 1.2[\mu\text{F}] \times 6.0[\text{V}] = 7.2 \times 10^{-6}[\text{C}]$  となる。コンデンサー 3 は並列なので

$$Q_3 = Q = \boxed{7.2 \times 10^{-6}[\text{C}]}$$

よって、この部分の電圧は  $V_3 = Q_3/C_3 = \boxed{3.6[\text{V}]}$  となるので、 $V_1 = V_2 = V - V_3 = \boxed{2.4[\text{V}]}$  となる。よって、

$$\begin{cases} Q_1 = C_1 V_1 = 1.0[\mu\text{F}] \times 2.4[\text{V}] = \boxed{2.4 \times 10^{-6}[\text{C}]} \\ Q_2 = C_2 V_2 = 2.0[\mu\text{F}] \times 2.4[\text{V}] = \boxed{4.8 \times 10^{-6}[\text{C}]} \end{cases}$$

となる。

(3-3) 図 (b) の回路の合成抵抗  $R$  を求めよ。

$R_\alpha$  と  $R_\beta$  を、直列につないだ合成抵抗は  $R_\alpha + R_\beta$  で、  
並列につないだ合成抵抗は  $\frac{1}{\frac{1}{R_\alpha} + \frac{1}{R_\beta}}$  である。

まず、 $R_1$  と  $R_2$  が並列につながっているので、その合成抵抗は

$$\begin{aligned}\frac{1}{\frac{1}{2.0} + \frac{1}{3.0}}[\Omega] &= \frac{6.0}{2.0 + 3.0}[\Omega] \\ &= 1.2[\Omega]\end{aligned}$$

である。

次に、これと  $R_3 = 1.8[\Omega]$  が直列につながっているため、その合成抵抗は

$$R = 1.2[\Omega] + 1.8[\Omega] = \boxed{3.0[\Omega]}$$

となる。

(3-4) 図 (b) の回路で、各抵抗に流れる電流  $I_1, I_2, I_3$  と電位差  $V_1, V_2, V_3$  を求めよ。

全体の合成抵抗は  $R = 3.0[\Omega]$  なので、全体を流れる電流  $I$  は  $I = \frac{V}{R} = 2.0[\text{A}]$  となる。

抵抗 3 は並列なので

$$I_3 = I = \boxed{2.0[\text{A}]}$$

よって、この部分の電圧は  $V_3 = I_3 R_3 = \boxed{3.6[\text{V}]}$  となるので、 $V_1 = V_2 = V - V_3 = \boxed{2.4[\text{V}]}$  となる。よって、

$$\begin{cases} I_1 = \frac{V_1}{R_1} = \boxed{1.2[\text{A}]} \\ I_2 = \frac{V_2}{R_2} = \boxed{0.8[\text{A}]} \end{cases}$$

となる。

